

じんけんきょういくすいしんしていちいき 広野町が人権教育推進指定地域に指定されました

人権教育推進地域とは？

(文部科学省指定 福島県教育委員会委託事業)

学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を市町村教育委員会との連携・協力の下で推進し、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にされた教育の充実を推進していく地域のことです。

つまり、広野町のこども園・小・中学校と家庭、地域社会が協力して、一人一人を大切にされた教育を進めていくんだね！



まずは、わたしたち大人の言動をふりかえり、子どもたちが安心して学んだり、生活したりすることができる環境を整えることが大切です。また、わたしたち大人が率先して、子どもたちの模範となる言動を示していくべきです。では、どんなことに気をつければよいのでしょうか。

「大人のチェックリスト」を使って、子どもとのかかわりを振り返ってみましょう！

【大人のチェックリスト】

〔参考資料：人権擁護のためのセルフチェックリスト（全国保育士会）〕

	チェック項目	✓
1	子ども同士のトラブルが起きたときに、子どもの言い分を聞かず、一方的に判断を下すことが多い。	
2	子どもが話しかけてきたときに「今忙しいから後にして」と言って、その後も話を聞かない。	
3	「〇〇と比べてあなたは・・・」と友だちや兄弟（姉妹）と比較し、否定的な言葉がけをしてしまう。	
4	意味もなく怒鳴ったり、「〇〇しろ！」と強要したりして、子どもを思い通りに動かそうとする。	
5	「〇〇さんの家族って・・・よね」と子どもに聞こえる場所で、他人の悪口や否定的な言葉を話す。	
6	「〇〇ちゃんは夏休みはどこに行ったの？」と誰もがどこかに出かけたのを前提に話しかけている。	
7	「男の子だから〇〇しなさい」「女の子だから〇〇してはいけない」と性別を理由に注意してしまう。	
8	子どもの意見を十分に聞かず、自分の勝手な思い込みで物事をすすめてしまうことが多い。	
9	子どもが間違えたことや失敗したことを、大勢の人がいる前で指摘してしまうことがある。	
10	「がんばれ」ばかりでなく、「がんばっているね」など努力を認める言葉がけを行うことが少ない。	

このチェックリストはほんの一例ですが、✓が少なければ少ないほど「人権意識が高い」と評価できます。

チェック項目を見たときに「甘やかしすぎでは？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、大人の価値観に左右されずに子どもが自分の意志で安心して行動できる環境づくりが大切です。



現在広野町には、県内・全国各地からたくさんの方々が住むようになっています。大人同士それぞれの立場や意見を尊重し合う姿を示し、子どもと適切にかかわりながら、広野町全体で人権意識を高めていけるようご協力をお願いします。